

「平成 27 年度における環境調査の結果等について【長野県】」に対する助言（案）

1 水資源

- (1) 地下水の水位、湧水の水量又は地表水の流量について、3月から4月にかけて大きく増加する地点と、ほとんど変化がない地点が見受けられるので、こうした傾向の違いが生じる原因についても把握するよう努めること。
- (2) 地下水の水位、湧水の水量及び地表水の流量について、各年度のデータを同じグラフ上に記載するなど、年度ごとの比較が容易にできるようにすること。
- (3) 代表的な調査地点については、地下水や表流水の水位について連続測定を行うことを検討すること。

2 植物

植物の移植・播種について、トダイアカバナの移植を除いて10月下旬から11月上旬に実施しているが、現地は標高が高くこの時期では遅いと考えられるため、専門家等の助言も踏まえ適切な時期に実施すること。

3 動物

ミゾゴイ、ブッポウソウは夏鳥であり、基本的な情報として渡来・渡去の時期が重要となるため、地元の研究者からの聞き取り等による把握に努め、そうした情報も報告書に記載するとともに、具体的な環境保全措置の検討に活用すること。